



日頃より相双域内の社会教育の発展に御協力いただき、心から感謝申し上げます。  
今後も相双域内の社会教育の充実のため、情報提供等、御協力のほどよろしく願いいたします。

**地域学校協働本部事業「学校・家庭・地域連携サポート事業」**

**地域学校協働研修会（地区別研修）**

12月2日（水）、万葉ふれあいセンターにて「地域学校協働研修会」を開催しました。  
研修会では、域内の実践事例を3町村から発表いただきました。後半の情報交換においても活発な意見交換がなされ、充実した研修会となりました。学期末のお忙しい中のご参加、まことにありがとうございました。

**【実践発表事例Ⅰ】 榎葉町教育委員会生涯学習課 主査 三浦 寛己 氏**

☆ 生涯学習課主査の立場から、「榎葉町地域学校協働活動事業紹介」と題し、今年度コロナ禍の中でも工夫して行った実践事例や地域コーディネーターの取り組みについてご発表いただきました。今年度コーディネーターがかわった中での調整や配置の工夫など、市町村関係の研修者の参考となる内容でした。

**【実践事例発表Ⅱ】**

**飯舘村立いいいたて希望の里学園 主幹教諭 今野 智功 氏**

☆ 地域連携担当教職員の立場から、「地域とともにつくるいいいたての学び」と題した実践事例について、事業実践の中での体制やつながりを重視した内容や夏の研修会を生かした取り組みなどについて発表いただきました。

地域コーディネーターの重要性やそれを生かす事前打ち合わせの大切さなど、学校関係の研修者の参考となる内容でした。

**【実践事例発表Ⅲ】**

**広野町教育委員会学校教育係長兼指導主事 渡邊 智幸 氏**

☆ 学校教育課指導主事の立場から、「広野町の地域学校協働活動～子どもの『感』でつくる教育活動の推進を通して～」と題し、ビジョンの共有や活動の目的をしっかりと持つことの大切さや子どもの思いや願いを生かした活動の必要性について発表いただきました。

次年度に向けた方向性や計画立案についての話題もあり、自治体の今後という視点でも研修者の参考となる内容でした。



【振り返り・情報交換】

- ・振り返り
- ・今年度の取組、成果と課題
- ・次年度に向けて

☆ 「ふくしまの未来を創る地域と学校の連携・協働のために」にある学校の視点からの地域と連携・協働した活動の進め方に沿ったチェックリストをもとに、今年度の実践を振り返り、そこから見える成果や課題をもとに活発な情報交換が行われました。

地域連携協働活動 振り返りチェックリスト

チェック項目	☑ 1<2<3<4
① 地域連携協働活動の全体計画が作成されている。	□
・校内研修等で校内での共通理解はなされていますか？	1 2 3 4
② 地域連携協働活動の年間活動計画が作成されている。	□
・地域連携担当教職員は学校・学年のニーズ把握をしていますか？	1 2 3 4
③ 関係機関（地域コーディネーター、生涯学習課、公民館等）と計画等を共有している。	□
・チーム体制（校内：推進委員会・地域を含めた協働本部等）はできていますか？	1 2 3 4
④ 「何を、どのように学ぶか」の目標が明確である。	□
・地域と学校との連携・協働による効果は見られますか？	1 2 3 4
⑤ 地域や家庭に活動状況を発信している。	□
・地域とのつながりを意識していますか？	1 2 3 4
⑥ 次年度に向け、活動ごとの情報の蓄積や活動の評価を行っている。	□
・計画書や報告書、人材リスト等は整理されていますか？	1 2 3 4

～参加者の感想から～

- コロナ禍が続いている中、さまざまな学校行事が制限されている。子どもたちの目を外に発信させることが一番の教育だと感じる。キャリア教育とも関係するが、地域で活躍する人の活用を推進していくことはとても大切なことであると思う。（中学校）
- 檜葉町の「担当者が交代してもうまくいった理由」は参考になった。異動がつきものの業種なので、引き継ぎを確実にできると良い。（小学校）
- 「地域学校協働活動はだれのためにあるのか」ということを改めて考えさせられました。現場で今後の取組内容を考えて支援できる担当者として取り組みたい。（県立高）
- 学校教育への生かし方について考えることができた。振り返り等、情報交換が良かった。しかし参考になったことを具現化することは難しい。（教委会）

【成果と課題】

- 違った立場の方々の実践事例発表、情報交換など、それぞれの成果と課題（よさや苦労）を知る良い機会であったとの声が寄せられた。「連携・協働」の意義や地域連携担当教職員、地域コーディネーターの役割、つながりの大切さなどについて再認識する機会となった。
- 各自治体・各校の実態や状況は異なるものの、研修者は「実践事例や情報交換の機会」を研修会に求めている。さらなる充実に向け、「どんなことから、どのように取りかかればよいのか」という段階から一歩前進した不安は解消されてきていること、さらなる充実に向けた研修内容を企画していく必要がある。

令和2年、大変お世話になりました。

今年は、新型コロナウイルス感染症の拡大から、学校の休校、事業やイベント、研修会等の中止となりました。また、感染拡大防止への対応や様々な制限の中でのご対応の苦労は並々ならぬものであったと思います。そんな中、開催された研修会や会議へのご参加、各種訪問の受け入れ等、まことにありがとうございました。

これらの成果や課題を来年に生かしていきたいと思っております。

